



DZR Firmware Updater

ユーザーガイド

はじめに

ヤマハ製品をご愛用いただき、まことにありがとうございます。

このユーザーガイドでは、アプリケーション「DZR Firmware Updater」を用いて、DZR シリーズ、DXS-XLF シリーズ (いずれも Dante 対応モデルのみ)のファームウェアをアップデートする手順を説明します。

注意(必ずお読みください)

- アップデートは、お客様ご自身の責任において行なっていただきます。
- アップデート中(データのロード中)に機器の電源を切る、ケーブルを抜く等、このユーザーガイドに記載された手順と異なる操作をした場合、機器が故障することがありますのでご注意ください。
- アップデートに失敗し、再度アップデートを実行しても機器が正しく動作しない場合は補足事項のFirmware Recoveryをお試ください。それでも正しく動作しない場合は、ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 機器本体ファームウェアと、そのアップデートプログラムおよびユーザーガイドの著作権は、すべてヤマハ株式会社が所有します。
- ファームウェア、ソフトウェア、ユーザーガイドの一部または全部を、無断で複製、改変することはできません。
- このユーザーガイドに掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合がありますのでご了承ください。
- Dante は、Audinate 社の登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他掲載されている会社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

手順 1. ハードウェア、ソフトウェアを用意する

1. 以下のハードウェアを用意する。

ハードウェア	備 考
Dante 対応 スピーカー	<ul style="list-style-type: none"> • DZR シリーズ : DZR315-D(W)、DZR15-D(W)、DZR12-D(W)、DZR10-D(W) • DXS シリーズ : DXS18XLF-D(W)、DXS15XLF-D(W)
Windows 搭載 コンピューター	<ul style="list-style-type: none"> • OS : Windows 10 (32bit/64bit)、Windows 11 • CPU : 1GHz 以上のプロセッサ • メモリー : 2GB 以上 • その他 : Ethernet(1000BASE-T)環境が必要
Ethernet ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> • CAT5e 以上を推奨 • ストレート、クロスのどちらも使用可能

2. 用意したコンピューターに、以下のソフトウェアをセットアップする。

ソフトウェア	セットアップの手順
アプリケーション 「DZR Firmware Updater」	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヤマハプロオーディオウェブサイトから、「dzt_firmware_updater.zip」をダウンロードし、解凍する。 2. 「DZR_Firmware_Updater」を任意のフォルダーに保存する。
ファームウェアファイル 「DZR_PROG.BIN」	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヤマハプロオーディオウェブサイトから、「dzt_firm **.zip (**)」をダウンロードし、解凍する。 (**はバージョン番号) 2. 「DZR_PROG.BIN」を任意のフォルダーに保存する。

Note

- ヤマハプロオーディオウェブサイトの URL : <https://www.yamahaproaudio.com/>
- 解凍後のファームウェアファイルの名前には、バージョン番号が含まれていませんのでご注意ください。

手順 2. コンピューターの TCP/IP を設定する

1. コンピューターで、「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ」ダイアログを開く。

Note

ダイアログは、以下の順にクリックすることで開けます(一例)。

[コントロールパネル]

- [ネットワークとインターネット]
- [ネットワークと共有センター]
- [イーサネット/Wi-Fi]
- [プロパティ]
- [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)]
- [OK]



ここからは、スピーカーの設定によって手順が異なります。

【スピーカーの IP アドレスの設定が DHCP の場合】

2. [IP アドレスを自動的に取得する(O)]を選択し、[OK]をクリックする。

【スピーカーの IP アドレスの設定が Unit ID の場合】

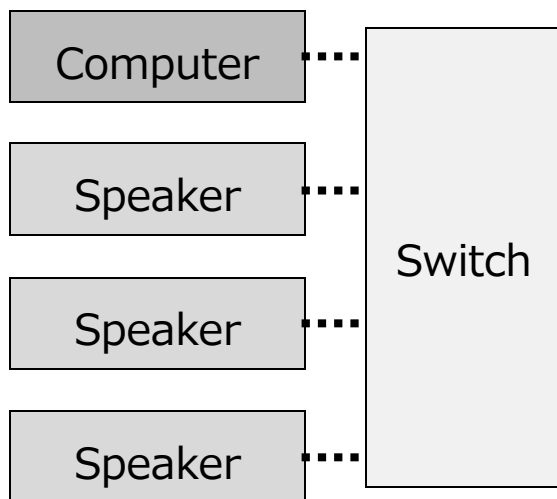
2. [次の IP アドレスを使う(S)]を選択する。
3. [IP アドレス(I)]に[192.168.0.***] (***)は DZR と UNIT ID が重ならない任意の値)と入力する。
4. [サブネットマスク(U)]に[255.255.255.0]と入力し、[OK]をクリックする。

Note

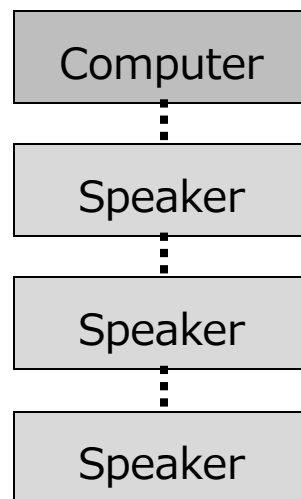
- スピーカーの IP アドレスの初期設定は DHCP です。
- 設定をすると、Windows ファイアウォールで「DZR Firmware Updater」がブロックされる場合があります。
[Windows セキュリティ] → [ファイアウォールとネットワーク保護] → [ファイアウォールによるアプリケーションの許可] → [設定の変更] を順にクリックし、「DZR Firmware Updater」の[プライベート] にチェックを入れてから[OK] をクリックしてください。

手順 3. スピーカーのファームウェアをアップデートする

1. Ethernet ケーブルを使用し、スピーカーとコンピューターとを接続する(スター接続の場合はスイッチを経由)。



【接続例 1 : スター接続】



【接続例 2 : デジチェーン接続】

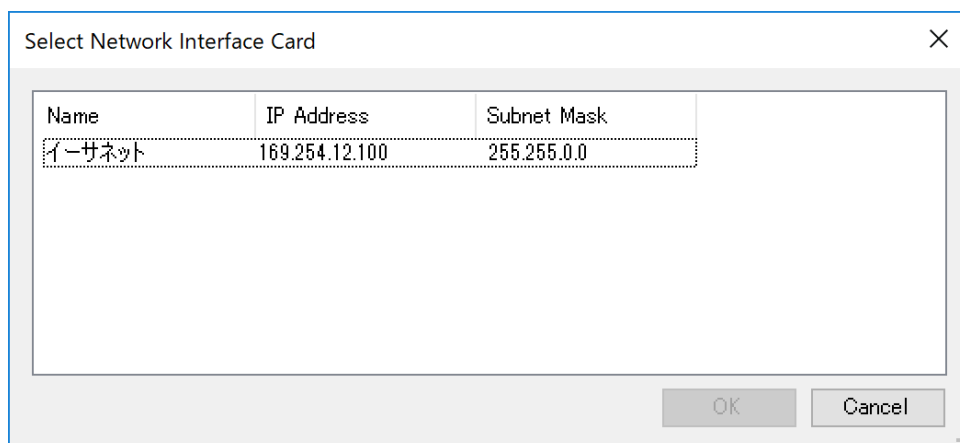
Note

省電力モード等でコンピューターが待機状態になると、機器へのデータ転送が止まる場合があります。
待機状態にならないよう、あらかじめコンピューターの設定をしておいてください。スクリーンセーバー等も使用しないでください。

ここからは、【スピーカーの IP アドレスの設定が DHCP の場合】を想定した図を用いて説明します。

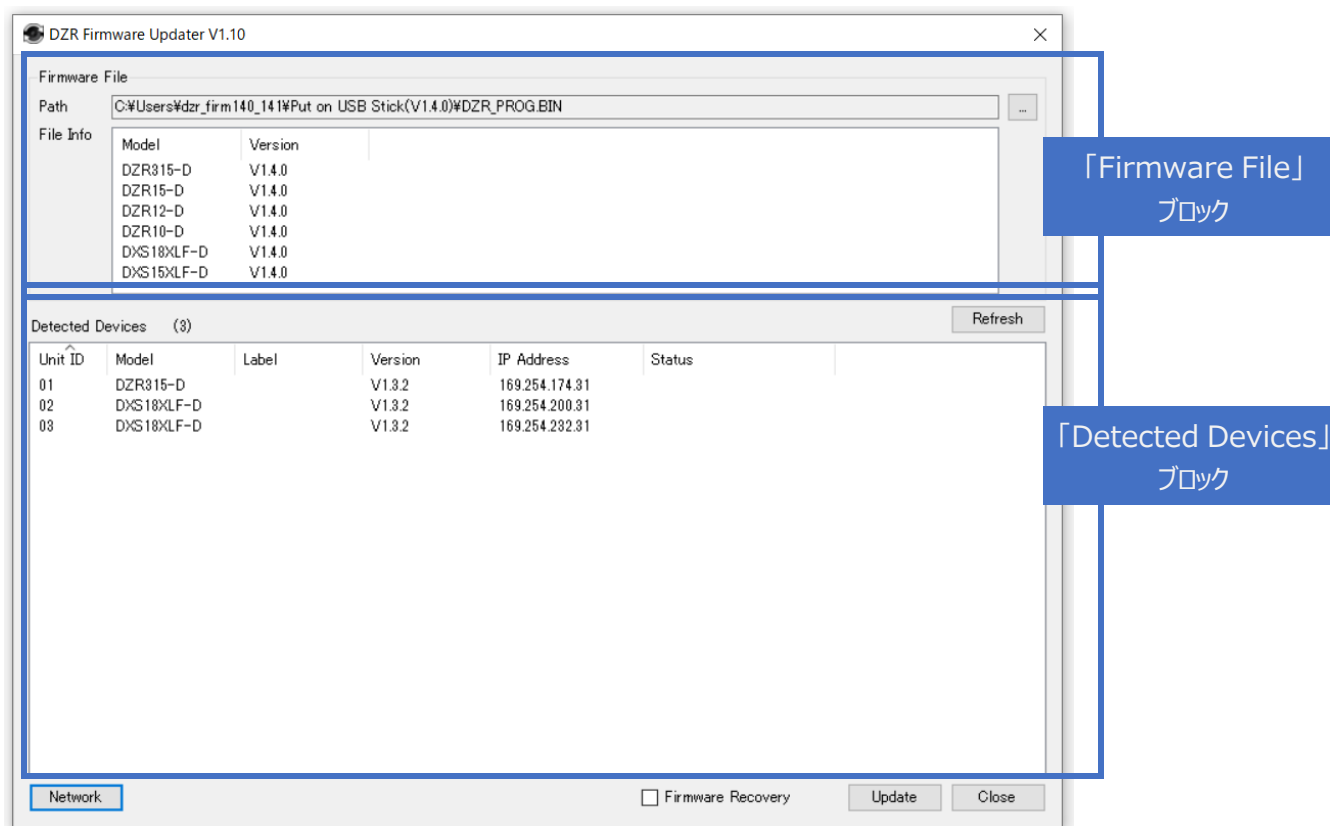
2. 「DZR Firmware Updater」を起動する。

→ ネットワークカードの選択画面が開き、使用可能なネットワークカードが表示されます。



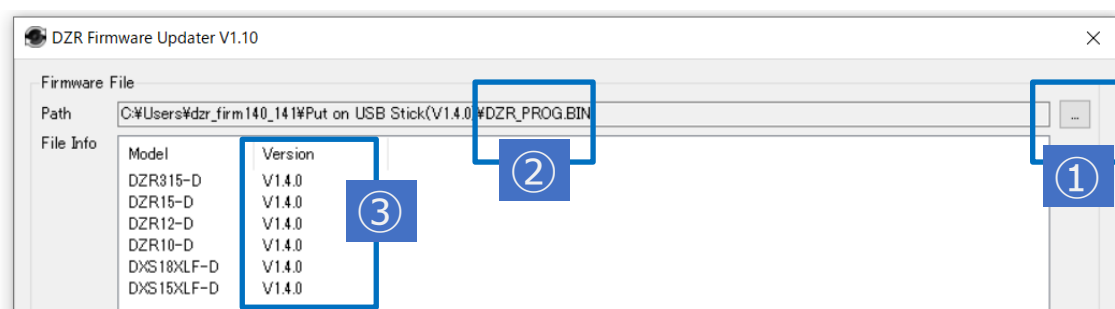
3. TCP/IP の設定をしたネットワークカードを選択し、[OK]をクリックする。

→ メイン画面が開きます。



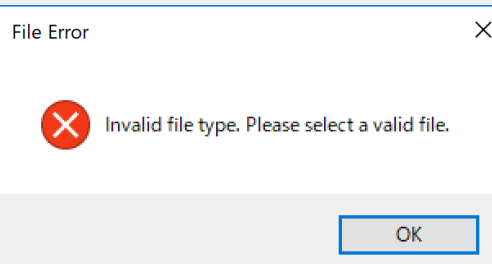
4. 「Firmware File」ブロックのファイル選択ボタン(図の①)をクリックし、[DZR_PROG.BIN]を選択する。

→ 選択したファームウェアファイルの名前は図の②、バージョンは図の③の位置に表示されます。



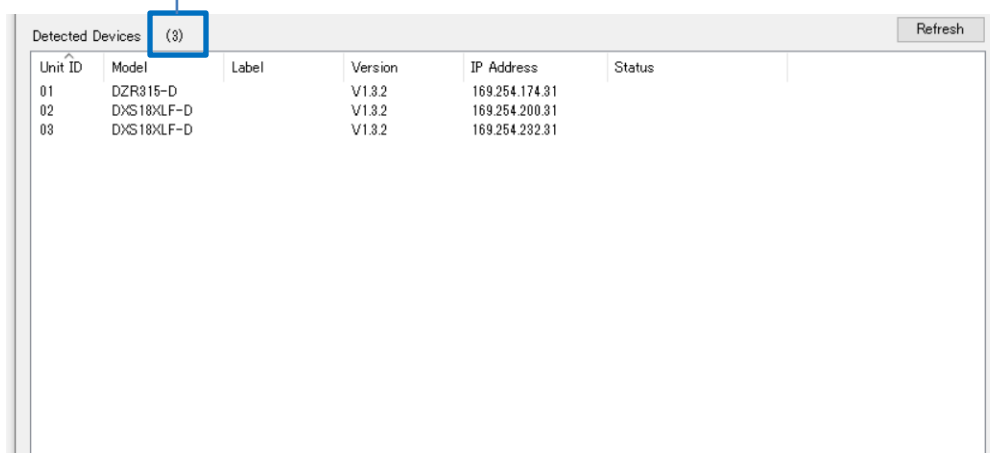
Note

正しいファームウェアファイルが選択されていない場合は、エラーメッセージが表示されます。



5. 「Detected Devices」ブロックに表示されたスピーカーの数とその情報を確認する。

発見されたスピーカーの台数



Detected Devices (3) Refresh					
Unit ID	Model	Label	Version	IP Address	Status
01	DZR315-D		V1.3.2	169.254.174.31	
02	DXS18XLF-D		V1.3.2	169.254.200.31	
03	DXS18XLF-D		V1.3.2	169.254.232.31	

項目	内容
Unit ID	スピーカーのユニット ID が表示されます。
Model	スピーカーのモデル名が表示されます。
Label	スピーカーの識別名称が表示されます。
Version	スピーカーのファームウェアのバージョン情報が表示されます。
IP Address	スピーカーの IP アドレスが表示されます。
Status	アップデートの進捗が表示されます。

Note

- [Refresh] を押すと、表示が一度クリアされ、再度スピーカーの発見処理が実施されます(ネットワーク設定が有効でない場合は、[Refresh] を押すことができません)。
- TCP/IP を正しく設定しても、スピーカーの情報が表示されない場合は、スピーカーを再起動してください。

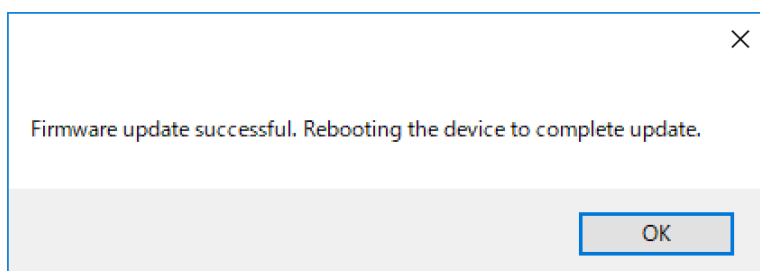
6. [Update]を押す。

→ スピーカーのアップデートが実行されます。

Note

- アップデート中、「Status」には「Updating…」と表示され、完了すると「Completed」と表示されます。
- スピーカーのファームウェアのバージョンと、ファームウェアファイルのバージョンが同じ場合は、「Status」に「Skip」と表示され、アップデートがスキップされます。
- 「Status」に「Error(Command)」あるいは「Error(Status)」と表示された場合は、アップデートが正常に完了していません。接続状況を確認し、再度アップデートを実行してください。

→ アップデートが完了すると、完了の案内が表示されます。



→ アップデートが完了すると、スピーカーは自動的に再起動されます。

再起動後は、「Detected Devices」ブロックにて、更新後のファームウェアバージョンを確認できます。

以上で、ファームウェアのアップデートは完了です。

補足 Firmware Recovery機能でファームウェアを修復する

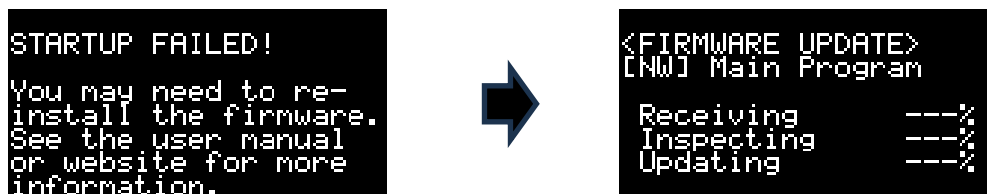
DZRシリーズまたはDXSシリーズは、ファームウェアのアップデート中にエラーが起きることにより、まれにデータが破損して使用不可能になることがあります。

この状態から回復するために、DZR Firmware UpdaterにはFirmware Recoveryモードが用意されています。Firmware Recoveryモードは、ファームウェアのアップデートに失敗して正常に起動できなくなってしまったスピーカーを修復することができるモードです。

1. リカバリー対象の確認

アップデート中にエラーが発生し、その後スピーカーの再起動を行っても「Detected Devices」ブロックにスピーカーが検知されない場合は、リカバリー対象の可能性あります。

リカバリー対象かどうかは、本体パネルから確認することができます。スピーカーを再起動し、電源がONになった後で下記画面が出る場合はリカバリー対象となります。



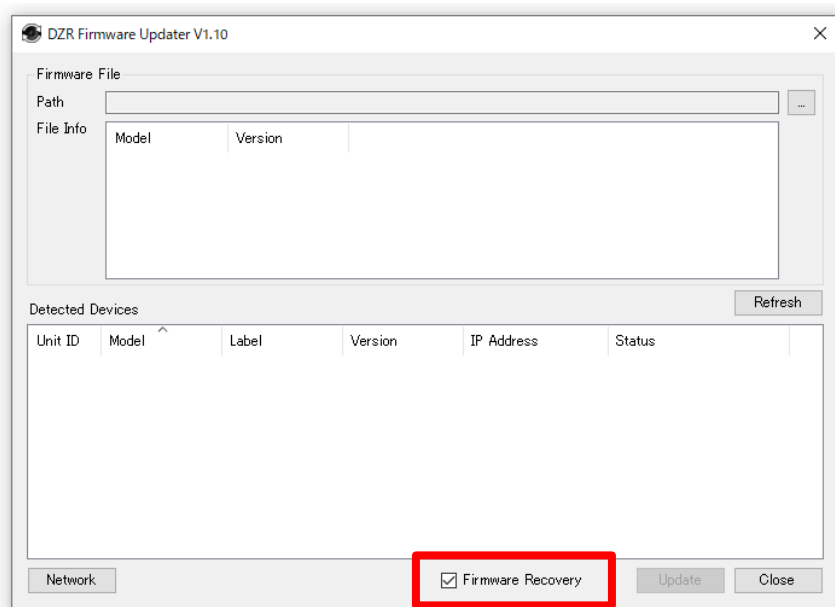
※3秒程度この画面が出ます。

2. リカバリー手順

2.1 リカバリー対象のDZRは再起動後IPアドレスが192.168.0.2となりますので、コンピューターのTCP/IP設定は、IPアドレスを「192.168.0.x」(例: 192.168.0.253)、サブネットマスクを「255.255.255.0」に設定してください。

また、同じネットワーク上にある機器のIPアドレスが重複しないようにしてください。

2.2 [Firmware Recovery]にチェックを入れます。



2.3 [Refresh]を押してスピーカーの発見処理を行います。

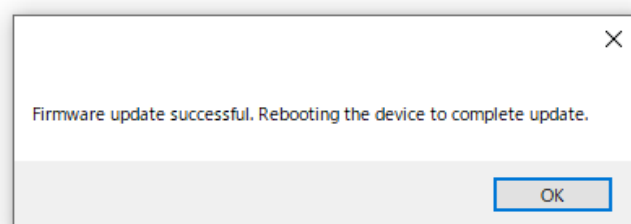
2.4 リカバリー対象のスピーカーが見つかったら、「Detected Devices」にIPアドレスが192.168.0.2でUnit IDやModelは不明となっているデバイスが検知されます。

※複数のリカバリー対象スピーカーがあっても、検知できるスピーカーは1台ずつです。

Unit ID	Model	Label	Version	IP Address	Status
---	---	---	---	192.168.0.2	

2.5 [Update]を押します。スピーカーのリカバリーが実行されます。

2.6 アップデートが完了すると、完了の案内が表示されます。リカバリーされたスピーカーは自動的に再起動されます。これでリカバリーは完了です。



2.7 引き続き他のスピーカーのリカバリーを行う場合は手順2.3に戻ります。

2.8 [Firmware Recovery]のチェックを外し、コンピューターのTCP/IP設定を元に戻します。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト

<https://www.yamahaproaudio.com/>

ヤマハダウンロード

<https://download.yamaha.com/>

© 2019 Yamaha Corporation

2024年9月 発行

YJ-B0